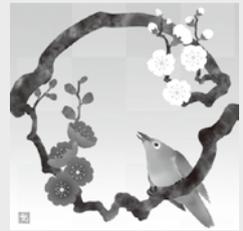




## 町長室だより

築上町長 新川 久三



お正月が過ぎ一年で一番寒気の時期となつています。町民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

### 「宇都宮連合」結成

1月14日、本町の寒田地区と豊前市の岩屋地区が、宇都宮氏とゆかりが深い大河ドラマ軍師官兵衛の放送を契機に、両地区が連合を結成し、地域振興を図ることを目的に全国に築上町と豊前市を売り込もうと、本家筋に当たる両地区が宇都宮連合を結成しました。

また、宇都宮氏ゆかりのみやこ町帆柱地区、上毛町、吉富町や長岩城のある中津市津民地区及びその他の中津市宇佐市においても宇都宮庶流が地方豪族として割拠してまいりましたので、宇都宮大連合を組織しようとの計画があります。

### 南海トラフ地震を想定した日米共同統合防災訓練

1月14日、防衛省から、南海トラフ

地震を想定した日米共同統合防災訓練を実施するとの連絡がありました。この訓練の中で在日米軍のMⅤ-22オスプレイや自衛隊の救難機で被災者を四国から築城基地に搬送するという訓練が含まれております。

訓練は2月7日に実施する予定で、オスプレイに関しては、岩国基地から被災地へ救難物資等を輸送した後、被災した緊急患者を四国の航空自衛隊士佐清水分屯基地から築城基地まで搬送します。(任務終了後は、岩国基地へ帰還します。)

なお、患者は築城基地からドクターヘリ等で災害拠点病院である新行橋病院へ搬送することです。

オスプレイの飛行コースですが、築城基地へは海側から進入して着陸し、基地で患者を降ろした後、海側から岩国基地へ向け飛び立つとのこと。

町民の皆様には、オスプレイが築城基地に一度飛来したという既成事実ができることにより、今後何度となくオスプレイが築城基地に来るのではないかと心配されている方もおられますが、

今回の訓練は、東日本大震災におけるトモグチ作戦の経験も踏まえ、大災害時における在日米軍、関係省庁などとの連携を図るための純粋な日米共同防災訓練の一環であり、軍事的な作戦は一切無いと説明を受けております。

### 日展入賞絵画の寄付を受ける

1月17日、千葉県船橋市在住で行橋市出身の原田康子様から漁網を主題にして描いた油絵「網のある風景」を町に寄贈していただきました。寄贈していただいたのは、100号目の絵画で、漁港の廃船の木屑に魚網が掛かっている素材の絵です。2月から旧蔵内邸で展示をします。素晴らしい絵なので旧蔵内邸へお越しの際にはご観賞ください。

### 松鳳山大活躍

大相撲初場所が始まりました。本町出身の松鳳山は前頭5枚目で勝ち越し大活躍しました。春場所の三役復帰に大いに期待がもてます。三役定着を目指して頑張ってください。

2月4日は立春で暦の上では春とは言え、気温は低く寒い日が続くと思えます。町民の皆様にはご自愛していただき寒さを乗り切ってください。

### 宝くじ助成で コミュニティ備品を新調

福岡山車振興協議会(会長 森市徳さん)では、地域の人から親しまれている伝統・文化を通じたコミュニティ活動に努めており、その保存・継承を行っています。

今回、この活動が認められ、(財)自治総合センターが実施する「宝くじ助成事業」による助成金を受けて、山車の幕や木輪などを新調しました。今後、地域の祭りやイベント等に積極的に参加し、さらなる地域コミュニティの活性化が期待されます。

「一般コミュニティ助成事業」は、宝くじ事業収入を財源として、(財)自治総合センターから地域のコミュニティ組織の活動に必要な備品等に対して資金が助成される事業です。

